

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（えちぜん） 越前森林計画区 （福井県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、福井市を含む3市2町に所在する約29,000haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は福井県北部に位置し、国有林野の98%が水源涵養保安林等の保安林に指定されており、九頭竜川水源地帯として、国土保全や水源涵養機能の発揮に重要な役割を果たしている。天然林が87%と多く、大型哺乳類や猛禽類等の貴重な生息区域として保全されているとともに、ヤシャゲンゴロウ生息地の夜叉ヶ池風景林や「白山山系緑の回廊」が設定されている。また、日本海側の海岸林は「越前加賀海岸国定公園」として潮害防備機能の発揮と併せてボランティアによる森林整備を行うなど、保健休養・教育的利用の場として利用されている。</p> <p>一方、人工林は13%と少ないものの、林齢がⅧ～Ⅺ齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">・主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">4 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">343 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">2.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.2 (km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p style="text-align: right;">167,468 (千円)</p>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	4 (ha)			保育面積	343 (ha)		路網整備	開設延長	2.5 (km)			改良延長	0.2 (km)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	4 (ha)																
		保育面積	343 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																
		改良延長	0.2 (km)																
費用対効果分析	総便益 (B)	1,210,422 (千円)																	
	総費用 (C)	171,484 (千円)																	
	分析結果 (B/C)	7.06																	
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業

都道府県名：福井

施行箇所：越前森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	219,813	
	流域貯水便益	118,607	
	水質浄化便益	261,857	
山地保全便益	土砂流出防止便益	331,592	
環境保全便益	炭素固定便益	65,897	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	71,652	
	木材利用増進便益	138	
	木材生産確保・増進便益	93,988	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(81,696)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(12,292)	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	96	
	森林管理等経費縮減便益	6,741	
	森林整備促進便益	36,197	
維持管理費縮減便益		3,844	
総 便 益 (B)		1,210,422	
総 費 用 (C)		171,484	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,210,422}{171,484} = 7.06$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたいせ） 北伊勢森林計画区 （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、三重県いなべ市を含む6市1町に所在する約2,600haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、養老山地及び鈴鹿山脈の脊梁地帯、高見山地等に所在しており、全面積の93%が水源涵養保安林等の保安林に指定され、伊勢湾に注ぐ員弁川等多数の河川の水源部として水源涵養機能の発揮に寄与している。また、砂防指定地が全面積の79%を占めており、国土保全機能などの公益的機能の発揮にも重要な役割を担っている。</p> <p>人工林は72%を占めており、その林齢構成はIX～XI齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>101 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>766 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.8 (km)</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td colspan="3">460,801 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	101 (ha)			保育面積	766 (ha)		路網整備	開設延長	2.3 (km)			改良延長	3.8 (km)	・総事業費	460,801 (千円)		
・主な事業内容	森林整備	更新面積	101 (ha)																				
		保育面積	766 (ha)																				
	路網整備	開設延長	2.3 (km)																				
		改良延長	3.8 (km)																				
・総事業費	460,801 (千円)																						
費用対効果分析	総便益 (B)	2,957,112 (千円)																					
	総費用 (C)	583,876 (千円)																					
	分析結果 (B/C)	5.06																					
評価結果	<p>・必要性：地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業

都道府県名：三重

施行箇所：北伊勢森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	716,796	
	流域貯水便益	258,447	
	水質浄化便益	589,505	
山地保全便益	土砂流出防止便益	778,995	
環境保全便益	炭素固定便益	139,152	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	142,806	
	木材利用増進便益	4	
	木材生産確保・増進便益	153,068	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(108,133)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(44,935)	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	10	
	森林管理等経費縮減便益	5,681	
	森林整備促進便益	80,244	
維持管理費縮減便益		92,404	
総 便 益 (B)		2,957,112	
総 費 用 (C)		583,876	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,957,112}{583,876} = 5.06$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（ゆらがわ） 由良川森林計画区 （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>本事業は、京都府北部の宮津市を含む4市3町に所在する国有林野約2,800ha内で実施する。</p> <p>本計画区は京都府北部から中部に位置し、国有林野は主として計画区北部の丹後半島に集中し、その一部は「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されており、レクリエーションの場として多くの人々に利用されている。国有林野面積は計画区の森林面積に対し2%と占有割合は低いものの、立地条件や地域の要請を考慮しつつ、水源涵養等の公益的機能の発揮に努めている。</p> <p>人工林は46%を占め、その林齢構成はⅧ～Ⅹ齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">・ 主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">22 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">366 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">1.7 (km)</td> </tr> </table> <p>・ 総事業費</p> <p style="text-align: right;">145,621 (千円)</p>			・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	22 (ha)			保育面積	366 (ha)		路網整備	開設延長	1.7 (km)
・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	22 (ha)												
		保育面積	366 (ha)												
	路網整備	開設延長	1.7 (km)												
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,618,783 (千円)													
	総 費 用 (C)	186,400 (千円)													
	分析結果 (B/C)	8.68													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業
施行箇所：由良川森林計画区

都道府県名：京都
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	383,370	
	流域貯水便益	148,103	
	水質浄化便益	393,337	
山地保全便益	土砂流出防止便益	496,754	
環境保全便益	炭素固定便益	78,260	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	24,879	
	木材利用増進便益	114	
	木材生産確保・増進便益	61,170	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(58,317)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(2,853)	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	66	
	森林管理等経費縮減便益	3,787	
	森林整備促進便益	28,943	
総 便 益 (B)		1,618,783	
総 費 用 (C)		186,400	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,618,783}{186,400} = 8.68$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたやま・とつかわ） 北山・十津川森林計画区 （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、奈良県南部の吉野郡十津川村を含む5村に所在する約8,700haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区における国有林野は、98%が水源涵養保安林に指定され、北山川や十津川の水源地帯に所在しており、水源涵養機能の発揮に寄与している。また、一部は「吉野熊野国立公園」に指定され、ブナ、ミズナラ、モミ、ツガを主体とした優れた自然景観がみられることから、登山などレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>人工林は32%を占め、その林齢構成はⅤ～Ⅺ齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">・主な事業内容</td> <td style="vertical-align: top;">森林整備</td> <td style="vertical-align: top;">更新面積</td> <td style="vertical-align: top;">34 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">保育面積</td> <td style="vertical-align: top;">977 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;">路網整備</td> <td style="vertical-align: top;">開設延長</td> <td style="vertical-align: top;">6.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">改良延長</td> <td style="vertical-align: top;">0.1 (km)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">・総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">507,468 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	34 (ha)			保育面積	977 (ha)		路網整備	開設延長	6.1 (km)			改良延長	0.1 (km)	・総事業費			507,468 (千円)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	34 (ha)																				
		保育面積	977 (ha)																				
	路網整備	開設延長	6.1 (km)																				
		改良延長	0.1 (km)																				
・総事業費			507,468 (千円)																				
費用対効果分析	総便益 (B)	5,271,923 (千円)																					
	総費用 (C)	512,669 (千円)																					
	分析結果 (B/C)	10.28																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業

都道府県名：奈良

施行箇所：北山・十津川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	960,079	
	流域貯水便益	673,379	
	水質浄化便益	1,586,126	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,516,191	
環境保全便益	炭素固定便益	167,879	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	49,023	
	木材利用増進便益	73	
	木材生産確保・増進便益	119,202	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(68,919)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(50,283)	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	46	
	森林管理等経費縮減便益	8,066	
	森林整備促進便益	188,396	
維持管理費縮減便益		3,463	
総 便 益 (B)		5,271,923	
総 費 用 (C)		512,669	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{5,271,923}{512,669} = 10.28$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（きちゅう） 紀中森林計画区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、和歌山県日高川町を含む3町に所在する約2,300haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は和歌山県中央部に位置し、国有林野は内陸部に4団地が散在している。92%が水源涵養保安林に指定され、有田川、日高川の水源地帯として重要な役割を担っている。また、紀伊地方を代表するツガやブナの天然林として「西ノ河ツガ・ブナ植物群落保護林」が設定され、貴重な学術的価値等を有する個体林として注目されているとともに、一部の国有林は「高野龍神国定公園」に指定され、登山などレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>人工林は82%を占め、その林齢構成は区齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">・主な事業内容</td> <td style="vertical-align: top;">森林整備</td> <td style="vertical-align: top;">更新面積</td> <td style="vertical-align: top;">46 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">保育面積</td> <td style="vertical-align: top;">652 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;">路網整備</td> <td style="vertical-align: top;">開設延長</td> <td style="vertical-align: top;">2.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">改良延長</td> <td style="vertical-align: top;">0.9 (km)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">・総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">351,486 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	46 (ha)			保育面積	652 (ha)		路網整備	開設延長	2.2 (km)			改良延長	0.9 (km)	・総事業費			351,486 (千円)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	46 (ha)																				
		保育面積	652 (ha)																				
	路網整備	開設延長	2.2 (km)																				
		改良延長	0.9 (km)																				
・総事業費			351,486 (千円)																				
費用対効果分析	総便益 (B)	2,133,967 (千円)																					
	総費用 (C)	381,953 (千円)																					
	分析結果 (B/C)	5.59																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業
施行箇所：紀中森林計画区

都道府県名：和歌山
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	406,810	
	流域貯水便益	178,711	
	水質浄化便益	584,765	
山地保全便益	土砂流出防止便益	587,374	
環境保全便益	炭素固定便益	110,973	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	22,561	
	木材利用増進便益	356	
	木材生産確保・増進便益	146,323	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(111,581)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(34,742)	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,044	
	森林整備促進便益	70,418	
維持管理費縮減便益		23,632	
総 便 益 (B)		2,133,967	
総 費 用 (C)		381,953	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,133,967}{381,953} = 5.59$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（たかはしがわじょうりゅう） 高梁川上流森林計画区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、広島県神石高原町に所在する約3,700haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は広島県東部に位置し、国有林野は神石高原町内に小面積の団地が散在しており、98%が水源涵養保安林に指定され、高梁川をはじめ下流域の水源地域として水源涵養機能を発揮しているほか、山地災害防止等の公益的機能に重要な役割を担っている。また、一部の国有林は「山野峡県立自然公園」に指定されており、風景林として地域住民の保健休養・教育の場として利用されている。</p> <p>人工林は62%を占め、その林齢構成はⅩ～Ⅺ齢級に集中しており、間伐等の施業が必要な林分から成熟期を迎える林分が大半を占めていることから、今後、これら人工林から生産される国産材の安定的供給への期待も高まっている。</p> <p>このことから、本事業は、地球温暖化防止をはじめ、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐や植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備の実施、間伐材等の安定供給を推進するためにも、その基盤となる林道等の路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">・主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">179（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,121（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>0.1（km）</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td colspan="3">293,391（千円）</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	179（ha）			保育面積	1,121（ha）		路網整備	改良延長	0.1（km）	・総事業費	293,391（千円）		
・主な事業内容	森林整備	更新面積	179（ha）																
		保育面積	1,121（ha）																
	路網整備	改良延長	0.1（km）																
・総事業費	293,391（千円）																		
費用対効果分析	総便益（B）	3,039,676（千円）																	
	総費用（C）	389,451（千円）																	
	分析結果（B/C）	7.81																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全森林整備事業

都道府県名：広島

施行箇所：高梁川上流森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	852,206	
	流域貯水便益	201,376	
	水質浄化便益	495,432	
山地保全便益	土砂流出防止便益	967,784	
環境保全便益	炭素固定便益	232,407	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	3,183	
	木材生産確保・増進便益	286,755	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(282,355)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(4,400)	
維持管理費縮減便益		533	
総 便 益 (B)		3,039,676	
総 費 用 (C)		389,451	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{3,039,676}{389,451}$		= 7.81